

投資家
グループ

新生銀株を市場売却

来月下旬
持ち分比率3割に

新生銀行は二十日、米
リップルウッド・ホール
ディングスを中心とした
投資家グループが、保有
している同行株式の約半
数を市場売却すると発表
した。投資家グループの
投資家グループは昨年
持ち分は三割程度に下が
る見込みで、同行を実質
的に支配してきた外資系
ファンデの影響力は大幅
に弱まるとの見方も出て
いる。

「ニュー・LTCB・パ
ートナーズ」を通じて整
理済み株式の約六五%を
保有していた。市場売却
に先立ち、組合の保有株
式の大半を出資比率に応

じて出資者に分配。うち約半数が二月下旬に売却される。投資家グループは昨年二月の再上場で約二千二百億円の売却益を手にしたが、二十日の終値(六百一十七円)で計算するとさうに一千九百億円超が実現益となる。

出資者の持ち分は三割程度に下がり、株主の分散が大幅に進む。出資者は持ち分を市場売却できるが、半年は相場に大きな影響が出ないよう売却を控える。新生銀は前身である日本長期信用銀行が一九九八年に経営破たん。国有化された後、投資家グループが十億円で買い取った。